

来年度休会/退会/山岳保険加入区分変更等申し出のお願い

2014 年度活動方針策定の一環として、来年度の TTC ムバ 区分並びに保険加入区分の確定を実施します。つきましては、現役ムバで退会または休会される方、並びに山岳保険加入区分の変更を希望される方、休会ムバで現役復帰を希望される方は、2014. 1. 18(1 月例会) までに坂本世話人代表にメール等でお申し出ください。

山岳保険について

現在選択加入いただいている日本山岳協会(JMA)山岳共済会「遭難捜索保険」並びに、日本遭難救助機構(JRO)」の保険内容が少しずつ変更になっています。詳細は TTC サイトのリンクメニューから各 HP で確認ください。

- ◆JMA(掛金+山岳共済年会費)
- ・1B(入通院給付) ¥8,410+¥1,000
- ・B(同上無) ¥5,720+¥1,000

- ◆JRO(会費+事後負担金)
- ・2012 年度以前加入 ¥1,900+¥600
- ・2013 年度加入 ¥1,900+¥800
- ・2014 年新規加入 ¥1,900+¥1,900

指名削除さんに感謝状贈呈

TTC ホームページを独力で立上げて以来 10 年間、サイト管理者として献身的な努力を続けられ、今回の新サイト移転を契機に、その役目を後輩に譲ることになった氏名削除さんに対し、忘年山行パーティ席上で、これまでのご苦勞と貢献に対し感謝状と記念品(チタックカー)を贈呈しました。

Aさんが登山ガイド資格取得

この度、氏名削除さんが、公益社団法人「日本山岳ガイド協会」の公認ガイド資格「登山ガイドステージ I」を取得されました。本有資格者は、プロの登山ガイドとして「国内の無雪期の山岳地帯の整備された登山道で、登山ガイド行為」が可能です。また、本資格を取得するためには、満

20 歳以上で、通算 120 日以上の登山経験と標高 1500m 以上の積雪期 10 日間を有する者で、基礎知識、関連法規法令、専門知識、安全管理、小論文等、広範囲にわたる内容の筆記試験に合格後、無雪期ルートガイドイング及び安全管理に関する各 2 日間の実技試験に合格したものに授与される高度な資格です。

山行実施結果報告

★陣馬山・高尾山(定例)★★ 11/23(土)日帰、公共交通利用、参加 17 名、天候:快晴。CL/計画:、SL、会計:なし、救護:スタッフ名削除。富士山や南アの大展望と紅葉を楽しむ。

★足和田山(提案)★ 12/7(土)日帰、スタッフマイクロバス利用、参加 13 名、天候:晴。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。360°の大展望と静かな日だまりハイキング、下山後に温泉。

★武甲山忘年山行兼 12 月例会(定例)★★ 12/21(土)-22(日)1 泊 2 日、公共交通利用、参加 25 名。天候:晴。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。新雪を踏んでの登山。浦山山荘で盛大な忘年パーティ。

至近の山行予定

◆金時山新年山行(定例)★ 1/11(土)日帰、公共交通利用、申込 21 名(新年会参加 18 名)。CL/計画/会計:、SL、救護:スタッフ名削除。【要注意】集合時間が約 10 分早くなっています。

◇竜ヶ岳(提案)★★ 1/25(土)日帰、スタッフマイクロバス利用。申込 15 名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。富士展望スーパーハイキング。

◆二宮吾妻山公園ウォーキング(ゆ)★ 2/1(土)日帰、公共交通利用。申込 15 名。CL/救護/計画:、SL、会計:なしスタッフ名削除。

山の花、野の花

サザンカ【山茶花】(ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹)



原種に近いサザンカ(薄桃色を交えた白の一重咲き)



ツバキの原種「ヤブツバキ」

原種は山口県、西国南部から九州中南部、屋久島から西表島の南西諸島等の日当たりのよい尾根筋に自生する日本の古来の花。近隣種が台湾やインドネシア等にも分布する。したがって、関東の山に野生種が自生していることはない。花の少ない冬に咲く数少ない花であることから、多くの園芸品種が開発され、庭木として全国に広まった。もとは中国語でツバキ類一般を指す山茶花「サカキ」が音位変換して、「サザカ」から「サザンカ」になった(英名:sasanqua)。原種は部分的に薄桃色を交えた白の一重咲だが、現在では八重咲や赤、ピンク、白等、多種の園芸種があるが、開花時期と花形から以下の 3 種に分類される。サザンカ群以外は、ツバキとの交雑種である。①サザンカ群、②カンツバキ群、③ハルサザンカ群。サザンカとツバキの違いは、後者は、花弁が全開しない(写真参照)、散るときに花首ごと落ちる、サザンカの花は芳香を発するがツバキは匂わない。サザンカの方が花期が早い(10-2 月)。

◆**葉畑山(定例)★★**2/8(土)日帰、スタートレスマイクロバス利用。申込11名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。

1月募集山行

◆**三浦アルプス(定例)★★**3/1(土)日帰り、公共交通利用。計画:スタッフ名削除。

◇**奥多摩日の出山(提案)★★**3/8(土)日帰り、公共交通利用。計画:スタッフ名削除。

◇**丹沢主脈縦走(提案)★★**3/21-3/22;1泊2日。公共交通利用。計画:スタッフ名削除。

安全登山豆知識

日本の登山ガイド制度

我国で登山ガイドを職業とする登山家は相当前から存在はしていたが、ツアー会社が主催するツアー登山がブームになった約10数年前頃から、ガイドに対する需要が急激に増大した。そんな折、トウラインツアー登山大量遭難死事件が発生し、大手登山ツアー会社が主催するツアー登山のガイドに、ガイド資格を有する者は少なく、大半が自称ガイドや登山経験がある人がアルバイト的に勤めている実態が明らかになり、安全管理を軽んじたツアー登山のあり方が問題視された。無資格者による登山ガイド横行の一因は、高度過ぎて資格取得が困難な我国山岳ガイド認定制度(山岳ガイド資格と登山ガイド資格のみ)自体にも問題があるとの指摘がなされた。

現在の山岳ガイド資格認定組織である公益社団法人「日本山岳ガイド協会」(2012年3月に内閣府所管として発足)の母体は1971年設立の社団法人日本アルバイトガイド協会(厚生省→環境庁所管)で、その後、各地の山案内組織や山岳ガイド組織を統合し、2003年に全国統一組織の社団法人「日本山岳ガイド協会」を経て現組織になり、以下に示す職能別に6階級に細分化されたガイド資格認定制度が発足した。現在ガイド資格保持者は約920人。

◆ガイド資格とその職能範囲

・**自然ガイドステージ I**:国内無雪期において、里地・里山・山地・高原

における自然ガイド。ピクニックが主目的の登山ガイドは不可。活動エリア例:上高地・尾瀬ヶ原、霧ヶ峰高原等。

・**自然ガイドステージ II**:国内積雪期を含む以外、同上ステージ Iに同じ。活動エリア例:積雪期の日光戦場ヶ原、霧ヶ峰高原等。スキーガイドは要別資格。

・**登山ガイドステージ I**:国内無雪期山岳の整備された登山道のガイド。難路、バリエーションルート、沢登りは不可。

・**登山ガイドステージ II**:国内積雪期を含む以外、同上 Iに同じ。積雪期は森林限界以内(八ヶ岳天狗岳・硫黄岳は不可)。スキーガイドは要別資格。

・**山岳ガイドステージ I(旧山岳ガイド資格)**:国内通年で縦走コース、岩稜コース等のガイド。岩稜登攀、岩稜バリエーション、雪稜ルート、フリークライミングは不可。

・**山岳ガイドステージ II(旧登山ガイド資格)**:国内四季すべてを通じてすべての山岳ガイド&インストラクター。スキーガイドは要別資格(ステージ I・IIとも)。

・**国際山岳ガイド**:国際山岳ガイド連盟加盟諸国の山岳全エリア。

ガイドが引率できる登山者数に上限がある。詳細はTTCサイトのリンクから「日本山岳ガイド協会」HPへ。

山に想う

はじめての テント泊

#094 指名削除

3年前、子供たちと富士山に行ってみようか〜と軽い気持ちで始めてしまった山登り。いまだに前日は、楽しみより不安な気持ちでいっぱいになったりしてありますが、それでもなんとか無事に戻ってくると、不思議に「次の山は・・・」などと雑誌や地図を広げて想像し、いつかはもう少し余裕が持てるように頑張っておトレーニングに励んでいます。

以前の私は、1キロ先も歩こうとはせず、キャンプやBBQなど、アウトドアが苦手で、テントに寝るなんて絶対無理!だと思っておりました。

両親も山登りに出かける私を見ては、小学生の頃に家族旅行で、瑞牆山を目の前にした途端、『絶対行かない!帰る!』と言いきり、みんな渋々、引き返してきたときの事を話し、いまの

私のあまりの変わりように驚いています。

今年、その山に登り、頂上から絶景を眺めながら、感動する気持ち以上に、家族に申し訳ない気持ちでいっぱいになってしまいました。

そんな私でも、去年は初めてのテント泊を甲武信ヶ岳にて経験することができました。

初心者のはのんきに西沢渓谷のきれいな紅葉を眺めながら、はしゃいでいました。登山口より登りはじめ、一転登っても登っても終わりが来ないんじゃないかと思うほどの急登に(私にはかなりの急坂に感じられました。)半泣き状態で、自分の体力以上の荷物を背負ってきたことに後悔し、このまま引き返そうかと真剣に考えたり・・・、それでも何とか歩を進め、分岐に到着。木賊山を過ぎ、あと少しの頑張りだと気力を振り絞り、小屋からのかすかな煙のにおいを感じたときの安堵感で、頂上での達成感ではなく、ここで涙してしまいました。

テント準備など、慣れない作業にとまどい、凍える手で食事の準備をし、日常の生活とは違い、原始的であるにもかかわらず、満たされた気持ちになるのは、普段の生活がいかに空虚なものであるかということを感じさせられました。

それに、私の子供達はもちろん山にはまったく興味はなく、自然の美しさもそれほど知りません。いまさらながら、この自然の良さを教えてあげられなかったことを後悔してありますが、いつの日か、興味を持ち、同じ思いになってくれることを信じて、私も先輩方に教わりながら経験を積み、山のすばらしさを学んでいけたらと思います。

これからもどうぞよろしくお願いたします。

今回は氏名削除さんの登場です。

1月例会:1/18(土)厚木市睦合西公民館工作室。安全登山教室 18:30-19:30、例会 19:30-21:00、拡大世話人会 11:00-17:30